



南条女子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和5年9月21日発

第28号



○ ボランティアスクール (4年生)

9月20日(水)、南越前町社会福祉協議会の方にお越しいただいて、4年生が福祉体験をしました。内容は、「○×クイズ」と「ボランティアの4つの原則(自主性、無償性、創造性、社会性)と2つの心構え(相手の立場に立って考える、仲間づくり)についての説明」、「ブラインドウォーク(目が見えない状態で歩く)」と「車いす体験」でした。

こうした体験をしたことで、困っている人を見た時、「何かお手伝いしましょうか。」という声かけが自然にできるようになると良いですね。



○ 読み聞かせ (1・3年生、なかひま)

9月21日(木)、1・3年生、なかよし・ひまわり学級を対象に、読み聞かせが行われました。子どもたちは、みんな目を輝かせながら、一生懸命に話を聴いていました。次回は、9月28日(木)、4年生で行われます。



1年1組

1年2組

3年1組

3年2組

なかひま

○ スポーツフェスタ (5・6年生)

9月21日(木)、本校に、南条郡内の4つの小学校の5・6年生が集まり、スポーツフェスタを行いました。内容は、レクリエーションと4つの競技(サッカー、ソフトバレー、ティールボール、ポッチャ)の中から1つを選択(最初のレクリエーションでは、4校混合のグループを作り、自己紹介を兼ねたゲームなどをして、親睦を図りました。その後は、自分が選んだ競技に分かれ、チームごとに対戦しました。)

将来は、南越前中学校に通うメンバーですが、今日の行事で、新しく仲良くなった他校の友だちができたようです。多くの児童が楽しむことができた行事になりました。



【お願い】

6月8日発行の南条小学校だより第15号に、次のような内容を書きました。

きれいになったビオトープの池を見ると、メダカが10匹も泳いでいなくて、あまりの少なさがっかりしています。・・・現在、メダカやホタルの大群を見るには、どこに行けば良いのでしょうか。子どもたちにぜひ見せたい光景ですが、どちらとも今では大変貴重な生き物になってしまいました。

その後、学校に「メダカをあげます。」という連絡が入り、たくさん寄付していただきました。いただいたのは、改良品種の観賞用メダカだったので、ビオトープには放さずに、水槽に入れて世話をすることにしました。5年生が面倒を見てくれています。

ところで、先日、たまたまビオトープの池を見たところ、びっくりすることがありました。改良品種の観賞用メダカ(ヒメメダカも含む)がたくさん泳いでいたのです。ひょっとして、どなたかがご厚意でそっと放流してくださったのかもしれませんが、しかしながら、ビオトープに必要なのは、クロメダカです。(クロメダカと言っても真っ黒なメダカのことではなく、どちらかと言えば茶色っぽい野生のメダカのことです。)私の思いをくんでくださり、子どもたちのためにと、いうお気持ちは大変ありがたかったのですが、ビオトープの池からそうしたカラフルなメダカをすべて取り除くという大変な作業が生じることになりました。

今後は、学校の許可無く、生き物をビオトープに放たないようにお願いします。